

少年^{じゆうねん}たんでいのレンが、お母^{おかあ}さん^{かあ}にたのまれたおつかい^{おつかい}をしているよ。

★それぞれの文のしゅ語とじゅつ語をさがそう。

見つけたら、しゅ語には——線を、じゅつ語には——線を引よう。

① レンは、わがしやさんに来^きました。

② ところが、わがしやさんはお休^{やす}みでした。

③ そのとき、レンに気づいた店長^{てんちやう}が、お店^{みせ}の中に入れてくれました。

④ 中には、けいさつかんがたくさんいました。

⑤ 店長^{てんちやう}は、かいとうK^{けい}からの「よこくじよう」を見せてくれました。

⑥ ねらわれているのは、い間^まのこの間^まにかざられているかけじくです。

⑦ 店長^{てんちやう}は、レンをい間^まにつれていきました。

⑧ い間^まにも、けいさつかんが五人いました。

⑨ レンは、とこの間^まの天じようとかべの間^{あいだ}にすき間^まを見つけました。

⑩ とつぜん、だれかが、「火^ひじだ!」と、さけびました。

⑪ すると、い間^まにいた大人^{おとな}たちは、いっせいに声^{こゑ}のほうを見ました。

⑫ でも、レンはかけじくから目^めをはなしませんでした。

⑬ そのとき、とこの間^まの天じようのいたがうごきました。

⑭ そして、天じようにあいたあなから、かいとうK^{けい}の手^てがのびてきました。

⑮ レンは、大声^{こゑ}でみんなに知らせました。

⑯ しかたなく、かいとうK^{けい}はかけじくをあきらめて、にげ出^でしました。

